

お知らせ

**まだ使える粗大ごみを
無償で譲渡します**

本町では、7月より家庭から出された粗大ゴミでまだ使えるものを、希望する町民の方に無償で譲渡しています。

▼譲渡方法

旧衛生センターにおいて、無償譲渡物品受領書に必要事項（譲渡を受ける物・氏名・住所・電話番号など）を記入（自署）していただき、職員が確認した後、譲渡します。

受領の際は、本人確認のため免許証などの提示をお願いします。

▼譲渡日時

粗大ごみ受入最終日の翌日（土・日・祝日の場合はその次の平日）午前9時から午前11時30分まで

※ごみリサイクルカレンダーを確認の上、お越しください（粗大ごみ受入日当日の譲渡はしません）。

▼注意事項

- ①譲渡する物は現状のものとし
- ②譲渡を受けた物は、最後まで自己責任で管理してください。

③リサイクルショップなど、営利を目的とする方への譲渡はできません。

④自転車で防犯登録がされているものは、譲渡できません。

⑤電気製品は、火災の原因となる恐れがあるため、譲渡できません。

⑥譲渡日は粗大ごみの分別作業をしていますので、次の点にご留意ください。

- ・重機により作業することもあるので、十分注意すること。
- ・分別・収集された物を他の場所へ移動させないこと。
- ・作業の邪魔にならないよう職員の指示に従うこと。

▼問い合わせ先

町民生活課 環境係
☎（62）2114

9月1日～10日は 屋外広告物適正化旬間

良好な景観の形成などを目的に屋外広告物に対する国民や企業の意識啓発などを推進するため、「屋外広告物適正化旬間」が定められています。

町内で屋外広告物を掲示および設置する場合には、福島県屋外広告物条例に基づく手続きが必要な場合があります。すでに掲示および設置されている人も含めて、今後検討する場合は、

系血族および兄弟姉妹）などの所得による所得制限もあります。所得制限限度額表を参考にしてください。

※なお、扶養親族の年齢により
限度額が加算されます

扶養義務者の年齢	加算額
0～16歳未満	0
16～19歳未満	150,000
19～23歳未満	150,000
23～70歳未満	0
70歳～	100,000

所得制限限度額表 (単位：円)			
扶養親族などの数	人		扶養義務者の限度額
	全部支給	一部支給	
0人	190,000	1,920,000	2,360,000
1人	570,000	2,300,000	2,740,000
2人	950,000	2,680,000	3,120,000
3人	1,330,000	3,060,000	3,500,000
4人	1,710,000	3,440,000	3,880,000
5人	2,090,000	3,820,000	4,260,000

▼手当額（月額）は

監護・養育する子どもの数や受給資格者の所得などにより決められます。

○児童1人の場合
全部支給 4万1430円

農地パトロールで農業委員が巡回します



農業委員会は農地の公的管理主体として、食料の生産基盤である優良農地の確保と有効利用の促進を図るため、毎年、農地パトロールを実施し、遊休農地の実態把握・発生防止・解消、農地の違反転用発生防止対策などについて重点的に取り組んでいます。

パトロール当日は、公用車に「農地パトロール実施中」のマグネットを貼り、農業委員会の帽子と腕章を着用した地区担当農業委員と事務局職員が巡回します。本年度の農地パトロールの日程は下記のとおりです。

地区名	実施日	担当委員
猪苗代	8/19(月)	山本廣市・笹岡正人・金本久美子
翁島	8/19(月)	穴澤清和・鈴木秀康・穴澤進
月輪	8/21(水)、22(木)	長沼一夫・古川文和・佐藤睦弘・大川原けい子
長瀬	8/21(水)	武田利和・佐藤智昭・阿部幸喜
吾妻	8/26(月)、27(火)	渡部長昭・佐藤英一郎・鈴木輝夫・安達寿人

●問い合わせ先 農業委員会 農地係 ☎（62）5655

事前にご相談ください。

▼問い合わせ先

建設課 都市整備係
☎（62）2118

ひとり親家庭の生活を 支援する児童扶養手当

児童扶養手当は、ひとり親家庭の生活の安定と自立を助けるために支給される手当です。

一部支給 4万1420円
9780円

○児童2人以上の加算額
2人目 5000円、3人目以降1人につき 3000円

▼手当を受ける手続き

次の書類を添えて保健福祉課で手続きしてください。

- ①認定請求書
- ②請求者と対象児童の戸籍謄本または抄本および世帯全員の住民票
- ③その他必要な書類

所得制限限度額や必要な書類など、手続きに関する詳細については左記にお問い合わせください。

▼問い合わせ先

保健福祉課 社会福祉係
☎（62）2115
または 県児童家庭課
☎024（521）7176

公売

町の汎用コンバインを 公売します

町が所有する汎用コンバインを公売します。機種・規格および公売方法は次のとおりです。

▼公売機種・規格

普通型（汎用）コンバイン

▼支給対象者

次のいずれかに該当する児童を監護している父または母、もしくは父母に代わって子どもを養育している人

※児童の年齢は、18歳到達後の最初の3月31日を迎えるまで（中度以上の障害がある場合は20歳未満）

- ①父母が婚姻を解消した児童
- ②父または母が死亡した児童

▼公売方法

現物を展示し、その後入札により最高入札額者と売買契約を締結します。代金入金確認後に受け渡しとなります。

▼展示期間・入札申込期間

8月19日（月）～8月23日（金）午前9時～午後4時

※入札参加を希望する方は必ず入札参加申込書を農林課へ提出してください。入札参加申込書、入札書は町役場農林課窓口および町ホームページで入手できます。町ホームページには写真掲載しています。

▼展示場所・時間

役場北側駐車場（旧猪苗代保育所跡地）

▼入札日・入札場所

8月26日（月）午前10時

役場2階 会議室

※時間厳守。郵送等不可

▼問い合わせ先

農林課 農業振興係
☎（62）2116

議会

町の将来を決定する場
議会を傍聴しませんか

議会の本会議は一般に公開されており、どなたでも傍聴することができます。議場は役場3階です。傍聴する人は、傍聴席入口にある受付簿に住所・氏名・年齢を記入し入場してください。なお、議事を妨害する恐れのある人は入場できないなど、傍聴の際には注意事項がありますので、職員の指示に従ってください。

▼開会予定日 9月2日(月)
※一般質問は5日(木)、6日(金)の予定です。
▼問い合わせ先
議会事務局 議事係
☎(62)5666

相談

高齢者・障害者の虐待、
差別の相談に応じます

9月9日(月)から15日(日)までの7日間は、全国一斉「高齢者・障害者の人権あんしん相談」を実施します。

「強化週間です。身体的・心理的虐待、差別やいやがらせなど高齢者や障害者の抱える人権問題について、電話相談を実施します。相談には人権擁護委員と法務局職員が応じます。」

▼時間 午前8時30分から午後7時まで(ただし14日・15日は午前10時から午後5時まで)
▼相談電話 ☎0570(003)110

※強化週間以外の日も午前8時30分から午後5時15分まで相談に応じています(土・日・祝日除く)

▼問い合わせ先
福島地方法務局人権擁護課
☎024(534)1994
期間中は、町でも人権擁護委員と行政相談委員の合同相談会を開催します。相談は無料で秘密は厳守しますので、気軽に相談してください。

行政相談委員に
相談してみませんか

国、県、市町村などの役所やN・Tなどの特殊法人の仕事について、苦情、意見や要望を受けるのが行政相談です。定例相談は毎月1回、第3水曜日に開催します。

催しています。お気軽にご相談ください。

▼行政相談委員

宮澤重正さん(下館)
☎(66)3995
佐藤明さん(会津若松市)
☎(29)6633

▼開催日時

8月21日(水)、9月18日(水)
午後1時から3時まで

▼場所

町役場3階 日本間

▼その他

相談無料・秘密厳守

▼問い合わせ先

総務課 秘書広報係
☎(62)2111

新しい人権擁護委員に
佐賀昭男さん

人権擁護委員に就任した佐賀昭男さん

法務省では、本町を担当する人権擁護委員を、25年7月1日付けで佐賀昭男さん(土町)に委任しました。

人権擁護委員は、憲法で保障されている地域住民の基本的人権の擁護と、人権尊重思想の普及高揚を目的として活動しています。

掲示板

告示

・第68号「充当通知の公示送達について」(税務課収納係)
・第69号「平成25年度固定資産税督促状の公示送達について」(税務課収納係)
・第70号「不動産等の最高価申込者決定通知書の公示送達について」(税務課収納係)
・第71号「公の施設に係る指定管理者の指定について」(商工観光課商工観光係)

公告

・第24号「猪苗代町農業振興地域整備計画変更に伴う公告について」(農林課農業振興係)
・第25号「インターネット公売による不動産等の最高価申込者決定について(第2号)」(税務課収納係)
・第26号「農用地利用集積計画の公告について(6月)」(農業委員会農地係)

※告示・公告された内容については、役場前掲示板をご覧ください。それぞれを担当課に問い合わせください。

ご意見ありがとうございます

町民意見箱「ご意見箱」に寄せられたご意見を紹介します。



●亀ヶ城を再建してほしい

【ご意見】

亀ヶ城跡に亀ヶ城を再建してほしい。

【回答】

亀ヶ城(猪苗代城)跡は、文禄・慶長期の石垣を持つ貴重な文化財であり、県指定史跡にもなっています。その再建にあたっては、根拠となる資料が不十分であることから、正確に復元することは困難であり、想像による城の再建は、正しい歴史認識の妨げとなります。同様のご意見は過去にもいただいておりますが、以上のことから、現段階での再建は難しいものと考えます。また、文化財保護の立場からは、できるだけ人の手を加えず、当時の状態を維持することが重要です。今後も現存する石垣や門跡などについては、後世へ確実に引き継ぐために維持・管理を続けてまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

☎生涯学習課 生涯学習係 ☎(72)0180

●夏場の猪苗代スキー場の利用方法について

【ご意見】

猪苗代スキー場を夏場も子どもたちや観光客が集う場所にしてほしい。スキー場に花やハーブを植え、なだらかな蛇行の道を造り、車・プレーキ付きソリで観賞しながら坂を下りてくる。もちろん冬場のスキー場運営には支障がないように整備し、夏季の遊園地として入場料を取りながら維持したい。遊歩道も造る。

【回答】

夏場の猪苗代スキー場の利用方法については、これまでも幾度となく関係者と協議してまいりました。現在の経営者も当初、ゲレンデを花畑にし、官民挙げてオフシーズンの観光誘客を図るべく環境省と協議しましたが、国立公園地内であるため、在来種である山ゆり以外の植栽は認められないとのことで断念した経緯があります。また、道を造るのに必要な斜面の「切り土」や「盛り土」についても環境省の許可が必要であり、これまでもスキー場の施設整備のほかには登山道以外に許可されておりません。

しかし、国立公園における規制緩和が進んでいることから、夏季の花やハーブの植栽については、今後環境省と協議を進めてまいりたいと考えております。

☎商工観光課 商工観光係 ☎(62)2117

●じゃぶじゃぶ池そばでの物品販売について

【ご意見】

先日、亀ヶ城公園のじゃぶじゃぶ池の近くでチョコバナナを売っていた。子どもたちが楽しく遊んでいる所で物を売るのはどうかと思う。町は認めているのか。他の市や町の公園ではイベント以外は見かけない。

【回答】

公園内での物品の販売は、猪苗代町都市公園条例の規定によりイベント以外でも行うことが可能です。また、町はその都度販売業者に対し許可をしております。今後も利用者の皆さんなどのご意見をいただきながら、公園利用の改善に努めてまいります。

☎建設課 都市整備係 ☎(62)2118

●猪苗代湖に発電所を造ってほしい

【ご意見】

猪苗代湖の地下に水力発電所を造ってほしい。電力不足に備えられる上、売電して町を豊かにできる。サイホンの原理を利用し、発電時に排出した水は再度湖に戻す。遠隔操作で運転し、無人の発電所としたい。

【回答】

東日本大震災以降、本町では原子力に依存せず、二酸化炭素の排出量が少ない、太陽光発電、小水力発電、地熱発電などの持続可能な再生可能エネルギーの導入を推進しています。

このため、猪苗代湖の水を利用した水力発電につきましては、その趣旨が町の方針と合致するものです。しかし、ご意見の内容については高度の技術や事業規模、費用対効果、自然保護などの課題も多いと予想されますので、本町の豊かな資源を活用した再生可能エネルギーの推進に向け、研究させていただきます。

☎企画財務課 企画調整係 ☎(62)2112

【ご意見の記入にあたってのお願い】

「ご意見箱」の設置から約半年がたちました。この間、多くのご意見をお寄せいただきありがとうございます。

ご意見には記名を必要としないため、内容の趣旨がわからない、事実の確認ができないなどの理由で回答ができない場合もあります。お寄せいただいたすべてのご意見にお答えできるよう、ご意見は趣旨がわかるように、具体的に記入いただきますようお願いいたします。